

## 試験研究（中間）評価整理表

意見整理表2(中間評価)

試験研究機関名 養鶏試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	・多彩な農業の展開 ・先端技術等を利用した 高度な技術の開発	地鶏の生産・流通に関する試験	地鶏の生産・流通に関する試験	地鶏は小規模経営が多く通年生産が難しく冷凍での流通・保存の事例が多いが、一昼夜後も中心部は冷凍されないなど品質管理に問題があった。そこで、急速冷凍に近い冷凍技術を開発し、地鶏肉の高品質化に資する。	急速冷凍機での冷凍は経費等から難しいので、通常の冷凍庫を使い、容器の違い・庫内の空気流動の有無等を比較し、急速冷凍に近い冷凍方法を開発する。	平成13	平成17	B	・評価は妥当である。
2	・農産物の安全性の確保 ・先端技術等を利用した 高度な技術の開発	鶏卵の安全性の確立	鶏卵の生産流通における実態調査を基礎としたサルモネラ汚染防止技術とHACCP導入技術の検討	中小規模採卵鶏農場の生産流通の実態に即したサルモネラ汚染防止技術を開発し、その技術によって、低コストHACCP導入技術に資する。	鶏卵の生産流通における実態調査を基礎とした中小規模農場向けサルモネラ汚染防止技術とHACCP導入技術の検討	平成13	平成17	B	・評価は妥当である。
3	・先端技術等を利用した 高度な技術の開発	鶏初期胚操作技術	凍結胚細胞を用いた生殖キメラ鶏作出	胚細胞凍結試験で、移植可能な胚細胞数を確保できたことから、今回は新鮮胚移植でのふ化成績(場実績)6%を目指すとともに、凍結胚細胞を用いて生殖系列キメラ鶏を作出する。	前回のドナー胚細胞の単離・凍結・融解等の細胞操作技術を応用し、今回はレシビエント胚細胞の除去方法、ドナー胚細胞の注入方法について検討した。	平成14	平成16	C	・改善点が示されている。